

日付：2026年2月11日（水）／建国記念日

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	日生、銀行窓販を停止について	日経9 生命保険・ニュース	<ul style="list-style-type: none"> 日本生命は2027年4月に銀行窓販商品の供給を停止し、子会社のニッセイ・ウェルス生命に新規販売を一本化する。 背景には、計1500件超の情報持ち出し問題を受けた戦略見直しの必要性がある。 統合により重複していた開発機能や人員を削減し、市場環境を反映した商品の機動的な開発を目指す。既存契約のアフターフォローは日本生命が継続する。不祥事による新商品採用見送り等の影響を食い止めるため、子会社への一本化で立て直しを急ぐ構え。 	<ul style="list-style-type: none"> 話題として活用 お客さまの加入されたチャネルの確認や、アフターフォローの有無、生命保険の加入を通じて大切にしていること等の把握まで
2	プルデンシャル詐欺問題被害件数増加もについて	日経3 生命保険・ニュース	<ul style="list-style-type: none"> プルデンシャル生命は10日、計31億円の詐欺問題を巡り会見した。得丸社長は足元で約300件の補償申請があり、疑義のある事例も数十件以上浮上したと明かした。全容解明へ元検事長らによる第三者委員会を設置し、在職中の不正は全額補償する方針。 90日間の営業自粛は状況次第で延長も検討され、米親会社は最大約540億円の利益影響を試算する。金融庁は立ち入り検査中で行政処分も視野に調査を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保険会社の話題として活用 話題をきっかけに、自社の保障の優位性やポイントを説明、保障の訴求につなげる
3	難路の日銀ETF売却（下）くすぶる「国の埋蔵金」論について	日経9 投資・積み立て	<ul style="list-style-type: none"> 日銀が保有する時価95兆円のETFを「埋蔵金」と見なす政治的思惑が強まっている。 衆院選では消費税減税の財源として、政府系ファンドへの抛出や売却加速による納付金増額などの案が浮上した。一方の日銀は、利上げによる「逆ざや」をETFの分配金収入（25年4～9月期は1.5兆円）で補っており、財務健全性の観点から早期放出には消極的。 安定的な国庫納付金を求める財務省の思惑も重なり、100年越しの売却計画は中央銀行の独立性を巡る政官民の攻防の火種となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 投資や積み立ての話題 積み立てのポートフォリオの確認から、リバランスへのアドバイス お客さまの志向に応じた商品を訴求
4	ペットと避難、備え進む市が同伴訓練「家族の一員」意識広がるについて	日経38 ペット保険・損害保険	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のペット同行避難への備えが広がっている。東日本大震災では避難所での拒否や車中泊による体調悪化が問題となり、環境省は2013年に同行避難を原則とする指針を策定した。しかし、2024年の能登半島地震でも課題が残ったため、同省は2026年度に指針を改定し、時系列ごとの具体的な対応例や自治体のサポート内容を明記する。 神奈川県南足柄市での同伴訓練や横浜市での住民による「ペットの会」発足など実効性を高める動きも活発化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペットの飼育の有無を確認 ペット保険の訴求はもちろん、ペットの名前や誕生日等で継続的な接点の確保

市況情報※

日経平均/前日比	57,650.54/ 1,286.60	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.500%
TOPIX	3,855.28/ 71.71	国債(5年)/前日差	1.700%/ ▲0.040
ダウ平均	50,188.14/ 52.27	国債(10年)	2.235%/ ▲0.055
上海総合指数	4,131.99/ 3.61	米国債(10年)	4.147%/ ▲0.053
ドル円	155.56-58 1円2銭高	中国国債(10年)	1.789%/ ▲0.008

今日は何の日

- 干支供養の日⇒
- 仁丹の日

干支置物等を製作している陶磁器メーカー・中外陶園が制定。立春の直後で、十と一を組み合わせると「土」になることから。一年間大切に飾られ厄を払ってくれた干支置物に感謝し、元の土に還す日

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：社交性が抜群で、人脈作りが得意な人

長所

- 働き者
- 即断即決ができる
- 性格がひょうきん

短所

- 見栄っ張り
- 刹那主義
- 物忘れがひどい

誕生花：オオイヌフグリ

花言葉：忠実・信頼・清らか

誕生日
カラー
赤色





詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：保険の販売チャネルに大淘汰の流れ！？保険代理店に試練の時代！

最近、「保険代理店」の厳しい環境に対する記事が増えています。苦情の増加による金融庁の対応や、販売不振が主な原因です。今日は改めて、保険代理店の記事を中心に、お客さまに信頼されるポイントや目線、販売チャネルを確認してみましょう！

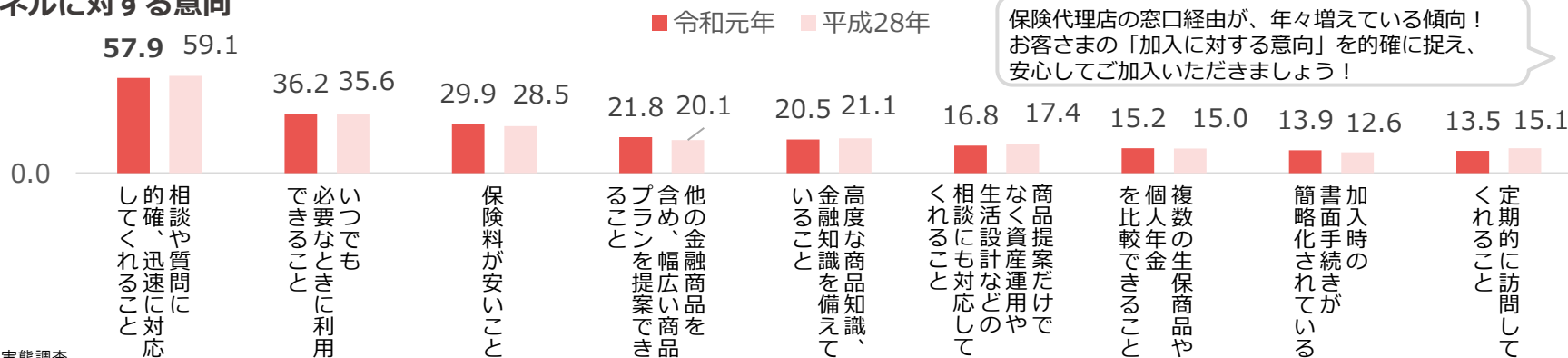
1. 代理店に関する主要記事

<p>「保険代理業」の倒産、過去最多ペース 前年の2.6倍 について</p>	<p>J-CAST 23,7/30</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険や損害保険を取り扱う「保険代理業」の倒産が、2023年上半年(1~6月)に16件となり、前年同期の2.6倍(166.6%増)と大幅に増加しており、過去最多を更新する可能性 一般社団法人生命保険協会の「生命保険の動向(2022年版)」によると、代理店数は2017年度(8万8650店)から21年度(8万537店)にかけて8113店減少(9.1%減)。今後も淘汰は続く 保険代理業の倒産を原因別でみると、最も多かったのは「販売不振」の14件(前年同期比250.0%増)で全体の87.5% 「代理店」の存在と必要性、ビッグモーターの保険金水増し問題でも注目は続く
<p>金融庁、保険業界の死角にメス 代理店に実態調査 について</p>	<p>日経 22,6/21</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 金融庁は、保険契約を巡るトラブルが相次ぐ保険代理店にメスを入れる 今夏をめどに代理店対応の強化策をまとめた指針を公表する。財務局と連携して代理店への聞き取り調査の回数を大幅に増やすほか、保険各社に代理店管理の強化を求める。「保険内容を十分説明していない」といった苦情が相次ぐなか、代理店の動向に監視の目を光らせ、顧客保護の徹底を図る狙い 保険代理店は生保で約8万、損保では約16万。主要な販売チャネルの一つだが近年苦情が多発していることを問題視

2. 直近加入契約のチャネル

	N	営業職員	通信販売	民保・JAなどの窓口	郵便局の窓口や郵便局員	銀行・証券会社を通して	保険代理店の窓口等	勤め先や労働組合等を通して
全体	3,348	47.0	5.5	8.4	6.5	2.8	11.4	7.9

3. 加入チャネルに対する意向



参考)2020(令和2)年度 生命保険に関する全国実態調査

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませ。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております(<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2026 k'sらぼ株式会社